



パンダハウス



病と闘っている子どもと家族が安心して過ごせる
もうひとつのわが家、それが「**パンダハウス**」です。



単なる滞在施設だけにとどまらず
心がやすらぎ励まされる場所となる事を願っています。
付き添いのお父さん・お母さんがパンダハウスに泊まり、
体や心を休めたり…

一時外泊のときには、家族一緒にゆったりした時間を
過ごすこともできます。



お子さまの成長に応じ、**長期的で
切れ目のない支援**で一緒に見守ります。

パンダハウス
相談室 

パンダハウス相談室は、病気とともに生きる
お子さまとその家族が「地域で安心して生活できる」ように
様々な心配や不安の相談を受け付けています。



パンダハウスは、皆さまからのご寄付によって建設され、
1997年10月に福島県立医科大学附属病院にほど近い
福島市蓬萊町にオープンしました。
そして、20年後の2018年ハウスの増改築が完成し、
新たな門出を迎えました。





おへやの ようす



パンダのぬいぐるみ

玄関を入ると、皆様をお出迎えするパンダのぬいぐるみ。
このハウスができたときに闘病されていたお子さまが
持っていたぬいぐるみで、パンダハウスの名前の由来ともなっています。
ハウスには他にもパンダのぬいぐるみがいます。
何頭いるか探してみてください。



タペストリー

パンダハウスが建てられるときに、ご協力頂いた方のお名前が布に一つ一つ刺繍され、更にそれらの布をパッチワークしてできたものです。

居室(和室・洋室)

付き添っているお父さんお母さんが横になったり休憩の場になります。



キッチン

一時外泊の時、家族の作った手料理を食べて過ごします



みんなのほーる

キッチン付きの多目的ホール。

ホールでは、同じ経験をもつ子どもや家族同士の交流会の開催などができます。



洗濯もできます!

ゆっくり入れるお風呂



みんなのへや

子どもたちがおもちゃなどで遊んで過ごします



相談室

専門の相談員が、療養生活に伴って生じる様々な心配事について、一緒に考えながら解決のお手伝いをしています。



パンダハウス

ボランティア活動紹介



みんなの力を
合わせて

毎日の おそうじ



- ・ きれいな台所
- ・ ベッドメイキングも完璧!
- ・ すっきりしたお風呂
- ・ 気持ちのよいみんなのへや
- ・ ぐっすり休める寝室



ぬいぐるみの分身として
応援を込めて子どもや家族に
渡しているバッチ

パンダバッチの作成



お庭の お手入れ

クリスマス プレゼント作り



入院中の子どもと付き添う
お父さん・お母さんたちへの
クリスマスプレゼント



レレーフォーライフ参加



チャリティバザー

